



# シェイクハンド

第52号  
H30.1

～静岡県訪問看護ステーション協議会便り～

なやみは半分、よろこび倍増

さあ みんなで手をつなごう!!



## 新年のご挨拶



一般社団法人  
静岡県訪問看護ステーション協議会  
会長 望月 律子

新年明けましておめでとうございます。

少子超高齢社会に備える政策が次々施行される変化の時代に、在宅療養を支える訪問看護の役割は益々拡大しています。協議会事務局も支部と共に、訪問看護の「これから」を見越した事業を展開してきました。平成30年は、在宅療養者に関わる様々な施策が改定されますが、新規事業の成果を励みに、会員が実力を遺憾なく発揮できるよう取り組んで参ります。各事業所のつよみを活かした存在感ある活動と組織力が協議会発展の要です。多職種との連携も深め、実りある1年になりますことを祈念いたします。



副会長 岡 慎一郎

新年のご挨拶を申し上げます。団塊の世代が後期高齢者となる2025年を見据えて、地域医療構想と地域包

括ケアシステムの取り組みが進められています。静岡県の推計によると、在宅医療の必要見込み量に比べて提供見込み量が不足しているため、さらなる取り組みが求められています。地域の中重度者を支えるためには、チームケア体制が不可欠であり、その中心に訪問看護があると思います。明るい未来を信じて取り組みたいと思いますので、よろしく願いいたします。



副会長 上野 桂子

新年明けましておめでとうございます。

平成30年はいろいろな意味で節目の年となりそうです。どこに住んでいても適切な医療・介護を安心して受けられる社会の実現を目指し地域包括ケアシステムの構築が進められています。今回の診療報酬・介護報酬の同時改定は2025年に向けての道筋を示す実質的に最後の同時改定となり医療・介護の両制度にとって重要な節目と言われています。医療と介護の役割分担と切れ目のない連携を着実に進めることが重要です。今まで以上に行政、他機関、多職種と連携強化し、県民が安心して療養生活が送れるようそのニーズに応えていきましょう。今年もよろしく願いいたします。



事務長 鈴木 恵子

明けましておめでとうございます。

昨年度は「利用者満足度調査」にご協力頂きありがとうございました。年度内には結果をお届けしたいと準備を進めています。

今年は、介護保険と医療保険の同時改定の年ですので、「訪問看護活用ガイド」の2018年版の作成を予定しています。また、「訪問看護実態調査」も実施しますので、引き続きご協力をお願い致します。

地域の中での訪問看護の役割はますます拡大し、期待も大きくなっています。これまで以上に日々の看護を振り返り、看護の質の維持・向上を図る必要があります。

地域の期待に応えられるように、皆で力を合わせていきましょう。



## 地域情報交換会 報告

地域情報交換会は「在宅ターミナルケアを実施又は実施しようとする訪問看護ステーションに対して、在宅緩和ケアやがん性疼痛看護の知識と技術を内容とする研修及び他の訪問看護事業所の看護師と相互交流を図り、お互いの知識や技術を共有し、資質の向上を図る」という目的で、毎年実施しています。

開催期間：平成29年8月1日(火)～平成30年1月31日(水)

開催地区・回数：県内8会場・各3回開催

### 「地域情報交換会に参加して」

天竜厚生会訪問看護ステーション

金子規予

実施日時：平成29年8月10日(木)

16:30～18:30

参加ステーション：天竜厚生会訪問看護ステーション

訪問看護ステーション天竜

日赤訪問看護ステーション

参加人数：13名

地域情報交換会に参加をして3年目となります。浜松市天竜区の中山間地域で訪問看護ステーションは小規模であり、ステーション内だけでは消化しきれない問題も抱えています。

今回は虐待事例やターミナルについての事例を通して、訪問看護認定看護師と共に検討することができました。どうしても、チームの看護師だけでは同じ視点での見方になってしまい、果たしてよいのだろうかと考えてしまいます。実際に第3者としての意見を頂けることは、私達にとってとても新鮮です。

第1ケースは、介護者が障がいを持つ子供で利用者である親に虐待をしてしまうという事例でした。地域包括支援センター・市の介護保険課職員など障がいを持つ子供へのアプローチだけでなく、この家族を取り巻く関係機関に呼びかけて、いろいろな視点から考える必要性を感じました。利用者に危害がなければ良いと言うだけでなく、障がいを持つ子供に寄り添う・見守る人の関係ができることが望まれます。

第2ケースは、退院カンファレンスがなく自宅に帰られたターミナルの利用者について、初回アセスメントの重要性を考えました。初回訪問時、短時間で情報収集をしなければなりません。今回の地域情報交換会では、聞く必要がある項目があれば、聞き



そびれることもなくアセスメントできると気づきました。誰もが使用できるアセスメントシートを作成する必要性を感じました。

第3ケースは、ターミナル期にある利用者、死についての深刻な話を突然された時にどのように対応するのか、対応は良かったのかを振り返るケースでした。利用者に寄り添い、思いを感じるとはどのようなことなのか話し合いました。話しやすい雰囲気を保ち、素直な気持ちで相手に接すること、沈黙に対して相手が必ずしも苦痛と思っていない、利用者も相手を選んでいるのだから話しかけられたことは、信頼関係ができていたことを表している等の意見が出されました。また、ステーションに戻ったら、深刻な話をされたことを共有して、話を振り返り精神的に自分を追い込まないように、意見交換することが重要であり、その積み重ねが看護の質を上げることにつながります。管理者としては、話しやすい環境を作ることの必要性等の話が出ました。

今回の地域情報交換会では多くの意見が出され、耳の痛いこともありました。資料作りで自分達が振り返り、他ステーションのスタッフと一緒に振り返る機会を持つことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。訪問看護は一人で訪問しますが、困ったことがあれば、自ステーションをはじめ、他ステーションスタッフに相談しようという仲間意識も出てきているように思いました。





# 経営セミナーに参加して

訪問看護ステーションブオレストア藤枝 大石 真知子

平成29年度より新たに経営セミナーが始まりました。この研修は「訪問看護事業所の管理者としての適切な管理運営ができる能力を高め、訪問看護事業所の人材育成や管理運営に必要な知識を学び深める」という目的で、訪問看護事業所の事業主及び準ずる方を対象とした研修です。今回はその第1回目の研修受講者の報告です。

訪問看護を立ち上げた当初の課題はとにかく人材確保・育成でした。なかなか24時間緊急対応体制・待機のできる常勤看護師が確保できない事や訪問看護に携わる看護師不足に日々苦勞していました。訪問看護ステーションを立ち上げ今年で5年目。静岡県訪問看護ステーション協議会はそんな経験の浅い私のような所長にとってとても心強い存在でした。

今回の研修受講のきっかけは、訪問看護師の確保充足が満たされる一方で、ステーションの経営赤字・看護ケアの稼働率低値について今年に入り組織から指摘を受け続け、利用者を増やすこと・売上を上げることについて会議でも衝突。自分たちの実践している看護ケアについて内容を説明してもなかなか組織に理解してもらえないという苦悩の連続。ステーション協議会に何度もメールや電話で相談させていただきこの苦悩の日々から脱出すべく経営セミナーの受講に至りました。

研修目的である「訪問看護事業所管理者としての人材育成や管理運営に必要な知識を学び、適切な管理運営ができる能力を高める」に対して自ら管理者としての現状評価をする必要があり、この研修を通して適正な管理運営をしていくことが重要課題であると考えました。今回セミナーの中で訪問看護ステーション開設事業計画と年間事業計画・及び収支予算書の作成についての講義を受けました。実際に

数字を自ら組み立てながら経営について考える機会は貴重な体験となりました。参加者それぞれのビジョンが見え、ビジョンが事業計画に反映されなければ看護ケアの質の向上・保障につながらないと学びました。また経営セミナー前後においてステーションのSWOT分析を行い自分たちのステーションがどんな目的を持っているのかを明確化しました。

これまで人材確保の為に日々の訪問看護ケアの質の向上や職員の教育には丁寧な力を注いできましたが、そこには具体的な数字や事業計画に目を向けることができていませんでした。訪問看護・ケアの見える化の実践が必要であるということ、言わば数字・収益の経済的計画と評価がきちんとできているのかということです。

さらに、労務管理・労働基準法について講義を受けました。適切な労務管理が雇用の質向上のための取り組みとなり、看護事業業務の質の向上に繋がります。働きやすさ・働きがいの向上が安全で質の高い看護の提供となるのです。

今回のセミナーで看護管理・経営について多くの事を学ぶことができました。こんなに日々頑張っているのにという感情論ではなく、職員皆が目指す客観的な目標に向かって日々のケアを自信を持って提供し、経営安定が図れることこそが職員の満足度に繋がるはずであると考えられるようになりました。経営資源である「人・物・金・情報」の安定的活用と経営・管理・運営がきちんと組織として成り立つことこそが利用者への看護の質の保証につながるということがはっきりと理解できました。このような研修機会をいただいた事に心から感謝します。





# ステーション紹介

## 東部

### 訪問看護ステーションかなみ

稲葉 光枝



訪問看護ステーションかなみは平成10年に開設されました。開設当所は、看護師3名で「住み慣れた町で安心して生活できるよう支援する」を目指しスタートしました。

現在では、看護師10名、理学療法士3名、事務職員1名と大所帯のステーションとなりました。

訪問地域である函南町は、伊豆の入り口にあり世界文化遺産に登録された富士山・韮山の反射炉と雄大で由緒ある地域です。移動時、車窓から見える四季折々の景色に癒され、励まされ19年が経ちました。

最近の利用者の対象は乳幼児から104歳の御長寿、

特定疾患をはじめとする種々の疾患・医療ニーズの高いケアに対応しています。乳幼児の関わりは、疾患や障害を抱えている対象者であっても、自分の子供の事の様に笑っては喜び、熱が出ては心配をし、母親に寄り添い母子の成長を見守っています。

又、ここ数年は、自宅での看取りの依頼も増えています。「人生最後を自宅で迎えたい」「迎えさせてあげたい」という利用者・ご家族の意向に添った支援を通じて、訪問看護の意思決定支援の重要性を再認識し、最期を迎えるその日まで、その人らしく生き抜く事ができるようご家族と寄り添い支援させて頂いています。

訪問看護師の精神的負担は大きく、時には押し潰されそうな時もありますが、函南町の大自然に癒されたり、スタッフ間の明るさやお互いを思いやり助け合う気持ちで乗り越えてきました。この絆・チームワークの良さは、どこのステーションにも負けないと自負しています。

今後も地域の方が住み慣れた街で末永く、健康で、自分らしくこだわりを持って生活でき、人生の最期を迎えられるような町づくりに貢献できるよう尽力したいと思います。

次は訪問看護ステーションけいあいさんです。

## 中部

### 訪問看護ステーション榛南

森下 律子

こんにちは。牧之原市にある「訪問看護ステーション榛南」です。本社は菊川市にある「オール看護小笠」で「訪問看護ステーション小笠」と同系列の事業所になります。平成17年4月に開設し早12年を迎えました。眼下に海を見下ろす御前崎灯台～頭上を飛行機が降り立つ静岡空港周辺までの広範囲を実施エリアとしています。時には、広々とした牧之原大地の茶畑の合間をぬって訪問することもあり、自然に恵まれた環境で仕事をしております。

開設当初は訪問看護と居宅の2事業所でしたが、現在は通所介護も併設して平屋のゆったりした建物

の中で事務所を構えています。訪問看護は産休1名を含む5名の看護師で運営しています。榛原地域は訪問看護ステーションの数が少ない為、住民の間にサービス種類として選択するほどポピュラーではなく、ケアマネジャーや主治医との連携を十分に取しながら利用を勧めていった経緯があります。「看護師さんが家に来て何をしてくれるだね？家族で摘便もできるし、経管栄養の管も交換できるよ」と、介護者の手際よい手技を見せられ困惑したというエピソードもあります。住民の方々に訪問看護の理解をしていただくには時間が掛かると思ったものです。





しかし、時が流れ介護保険制度も住民の間に浸透してきますと「訪問看護師さんをお願いをしなければ家で介護することはできないよ」「待っていたよ、ありがとう」と家族や利用者からの言葉。「穏やかに最期を迎えることができ助かりました」と主治医やケアマネジャーの方々の言葉。在宅看護の喜びを感じると共に、地域に訪問看護の役割が広がる事を念じるいつときです。

今後、地域包括ケアシステムの中で訪問看護の果たす役割は大きく、今以上に主治医・ケアマネジャーを始めとした関係機関との連携が重要になってきます。ネットワークシステムへの取り組みも行いながら、安心して利用できる訪問看護を目指していきたいと思っております。

次はニチイケアセンター焼津 訪問看護ステーションさんです。



## 西部 訪問看護ステーション大瀬

山角 美歌



訪問看護ステーション大瀬です。浜松市東区エリアにあり、浜松北病院が母体となる在宅支援グループの一つです。他事業所として機能別デイサービスが3事業所、訪問リハビリ、居宅介護支援事業所が同敷地内にあり浜松北病院が隣接しています。デイサービス利用中の体調不良時には速やかに医療受診も行える利用者様には安心の環境にあります。

利用者、家族の特徴は穏やかな人柄です。農業・家庭菜園をしていらっしゃる方が多く、訪問時は精魂込めた傑作作品のお話と現物の鑑賞で花が咲きます。同事業所サービスを使われていらっしゃる方も多く、隣接ならではの情報共有やご家族様への細か

な支援連携はスムーズに出来る環境です。体調観察、処置の提供等々はもとより、その中での訪問看護師の役割にはきめ細かな看護の視点を求められていると日々感じています。スタッフの一人ひとりと言います。「私たちが訪問し、また1週間頑張るって過ごそうと思って下さるように寄り添いたいです。」「自宅療養、看取りは自宅を望まれる方のお話に傾聴しつつ、身体状況に合わせて希望が整う為の方法を語って行く事が希望を全うして頂ける道かと思う」と看護観を語り合い、「このケースは今どうしたらよいか？」を具体化し明日に使えるきっかけ作りを頻回に行います。感想を述べるに留まらない工夫です。

厳しい現実としては独居、超高齢者が在宅療養をしている事は否めません。同グループ事業所の知恵も借りつつ、利用者・家族の生きる為の質の向上を利用者・家族の目線で考え、寄り添う事に努めています。様々な思いを胸に日々葛藤している私達は葛藤の分、共に輝きを増してきています。是非、皆様足をお運びください。そして、砕けたお話から始めていけたらと思います。

次は訪問看護ステーション浅田さんです。



## 訪問看護師就業セミナーに参加して

訪問看護の実際を知っていただくため毎年開催している就業セミナー、このセミナーに参加したことがきっかけとなり、毎年何人かの方が訪問看護師としての道を選択され活躍されています。今回はその中のお二人にその体験を伺いました。

### 就業セミナーに参加して①

訪問看護ステーション一休  
常久 三穂子

私の訪問看護師のイメージは、ベテラン看護師。なんでも知っていて、緊急時の対応もできる人。自分が看護師としていろいろな現場で経験を積み、将来的になれたらいいなと思っていました。偶然に訪問看護師就業セミナーのチラシを目にし、自分の将来の参考にしようと思い参加を希望しました。

セミナーでは同行訪問をさせていただき、具体的に仕事のスタイルをイメージすることができました。やったことのない処置や関わったことのないケースはどうしていくのかと心配でしたが、実際にはいろいろな研修も行われており、勉強・相談しながらできるという事でした。訪問看護師として仕事をしている先輩看護師の話聞くことができ、何でも一人で抱えなくても大丈夫なんだと思いました。遠い将来にと考えていたハードルの高かった訪問看護師でしたが、「私でも地域の中で役に立つ仕事ができるかもしれない。わからないことは勉強しながら、相談しながらやってみよう」と思い、訪問看護の仕事を始めました。

在宅では家族との関わりが多く、家族の希望や家族の介護力に合わせて必要なサービスも変わってくるという事を知りました。訪問看護は利用者本人だけでなく、家族看護が必要だと感じています。個別性が高く、その人と家族の生活全般も見られるように努めていく必要があると感じています。病院や施設で仕事をしていた時はあまり気にしたことはありませんでしたが、経済的な負担・家族の介護負担をできるだけ軽減するためにどんなケアを提供すべきかをよく考えるようになりました。

就業セミナーに参加したことがきっかけとなり、ご縁があって現在所属のステーションスタッフの一員として仕事をすることができ、本当に感謝しています。在宅生活のほんの少しの時間の関わりですが、安心して納得して生活が送れるように関わっていきたいです。

### 就業セミナーに参加して②

焼津訪問看護ステーション  
赤間 友恵

就業セミナーは知り合いから研修案内を見せていただき参加しました。当時の私は、訪問看護について何となくの興味と漠然とした恐怖と不安というイメージを持っていました。

セミナー1日目は現場の訪問看護師さんが資料や映像を交えながら説明して下さいました。2日目の実習では、同行訪問を通じて実際のケアや家族との関わり方等を見学しました。休憩中は他のスタッフの話も聞くことができたので、1日でしたが濃密で貴重な機会が得られました。3日目は総括で参加者ごと意見交換しました。さらにセミナーに参加してから就職した方の話も伺うことができ、充実した日々を過ごすことができました。

私は元々在宅サービスに興味があり、様々な現場を経ていく中でセミナーを知り、訪問看護と出会うことができました。縁があり今の職場に従事し、現在も勤務しています。

勤務当初はセミナーで知った情報だけでは不安が強く、知らないことも沢山あったので毎日が勉強と反省の連続でした。その度に長年の経験のある先輩看護師に支えられ、今まで続けていくことができました。

近年、訪問看護の重要性を訴えられることが多くなっていますが、成り手が増えていないのも現状です。以前の私と同じように見えない不安と恐怖が先に立ち、参加する勇気がない方が多数いると思います。しかし、興味がある方も少なからずいると思います。

就業セミナーに沢山の方が参加することで、少しでも多くの方に訪問看護について知って頂けることができます。さらには就業することで、現場やさまざまな研修などを通じて他の看護師と交流を持つことができ、知識を深めることも出来ます。

病院では味わうことの出来ない在宅サービスならではの充実感を他の方にも感じていただける機会となるよう、これからも沢山の方に参加していただきたいと思っています。





# 平成29年度東海北陸ブロック交流会に参加して

訪問看護ステーションいわた 長瀬 由美

今年の東海北陸ブロック交流会は11月18日、19日に石川県金沢市で行われました。静岡県からは望月律子会長はじめ10名が参加しました。紅葉シーズンでしたが、雨霰が降り今年いちばんの寒さでした。しかし、訪問看護師の前向きなパワーで熱気あふれた交流会となりました。

18日の午後からは石川県看護協会石川県看護研修センターにおいて、日本訪問看護財団の常務理事佐藤美穂子氏から「訪問看護をめぐる動向～平成30年度報酬改定に向けて～」の講演がありました。各県から122名が研修会に参加し、訪問看護をめぐる法改正の動向、訪問看護ステーションの実態、訪問看護の報酬の動向、訪問看護ステーションの運営について講義がありました。人々が住み慣れた地域で最期まで暮らすことを実現するために自分の地域に応じてご当地看護を考え実施していくことが、地域包括ケア推進へのかかわりとして重要であるとあらためて学びました。訪問看護ステーションの報酬改定の動向としては、看護の難易度・在宅看取りなど機能で評価される方向、介護予防訪問看護が評価の方向とわかりました。情報をしっかりキャッチし、柔軟にわが訪問看護ステーションの運営を考えようと思いました。

研修会の最後に各県の活動報告がありました。どの県も訪問看護ステーション協議会の加入が増え、研修や委員会活動が盛んに行われていることがわか

りました。静岡県は鈴木恵子事務長が活動報告をしました。静岡県訪問看護ステーション協議会は東海北陸ブロックの中でトップクラスの活動をしていることがよくわかり、誇りと感謝の気持ちでいっぱいになりました。

その後、KKRホテル金沢の白梅亭で交流会が行われ、68名が参加しました。「こんなに楽しい訪問看護をもっとアピールしよう」「家族まるごと関わる看護って素晴らしい」「他県は静岡に追いつけ追い越せで頑張ろう」など、真面目な話から日頃の悩みやうれしい話が飛び交い、おいしい食事とほろ酔い効果で大変盛り上がりしました。

翌日は、金沢観光ボランティアガイド「まいどさん」の所村幸子さんの案内で、金沢で一番大きな尾山神社、土堀の続く長町武家屋敷跡を訪ねて長町休憩館-武家屋敷跡界限-足軽資料館-老舗記念館など2時間ほど散策しました。雨かと思えば晴れ間が覗いたり金沢らしい天候の変化に驚きながら、金沢の歴史と文化を体感しました。

今回の参加は、美味しいものを食べて皆さんの笑顔とパワーをいただき、とても有意義な二日間でした。これから訪問看護ステーションの安定経営・運営をめざし、目前の平成30年度報酬改定への対策、2025年～2040年問題も訪問看護パワー全開で頑張ろうと思いました。





## 研修のお知らせ

### ◆在宅ターミナルケア研修 (中部・東部は終了しました。)

西部	日時	会場	内容	講師
1日目	1月13日(土) 10:00~16:00	コンgresセンター 53+54会議室	症状緩和について	静岡県立静岡がんセンター 薬剤部 がん専門薬剤師 石川 寛氏
			症状別ケア	聖隷三方原病院 緩和ケア認定看護師 福田かおり氏
2日目	1月27日(土) 10:00~16:00	研修交流センター 62研修交流室	リンパ浮腫・浮腫のケア (リンパドレナージ 講義・実技)	訪問看護ステーション ハートパーク はびきの 慢性疾患看護専門看護師 山本 弥生氏
3日目	2月24日(土) 10:00~16:00	研修交流センター 52研修交流室	死生学	静岡大学大学院農学研究科教授 竹之内裕文氏
			看護の原点について考える	大阪大学文学研究科 教授 浜渦 辰二氏

### ◆シンポジウム

どなたでもご参加いただける市民フォーラムです。知り合いの方などに声をかけて、一人でも多くの方にご参加いただけるようご協力をお願いします。(参加者に粗品進呈)

	日時	会場	内容	講師
中部	2月10日(土) 14:00~16:30	静岡県労政会館ホール (静岡市葵区)	基調講演 シンポジウム	フジ虎ノ門整形外科病院 院長 土田 博和氏
西部	3月10日(土) 13:15~16:30	地域情報センター (浜松市中区)	基調講演 シンポジウム	東邦大学大森病院 呼吸器内科 シニアレジデント 小林 紘氏

### ◆全体研修会 ※受講料：会員1,000円

日時	会場	内容	講師
3月24日(土) 13:30~15:30	もくせい会館 富士ホール	「診療報酬・介護報酬改定について」	静岡県訪問看護ステーション協議会 副会長 上野 桂子氏

### ◆ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム ※受講料：会員1万円 非会員1万5千円

	日時	会場
1日目	2月10日(土) 9:00~17:00	常葉サテライトビル6階
2日目	2月11日(日) 9:00~16:25	

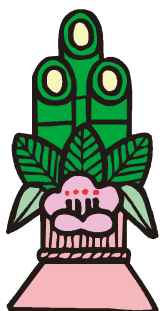
受講修了者には修了証を発行します。

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

本年は、医療・介護の同時報酬改定により慌ただしい年が予測されます。

こんな時こそ、みんなで手をつなぎ頑張りましょう。



## シェイクハンドNo.52

2018年1月発行

**発行所** 一般社団法人 静岡県訪問看護ステーション協議会  
〒420-0043  
静岡市葵区川辺町二丁目4番地の13  
常葉サテライトビル3階  
Tel 054-275-3339  
Fax 054-275-3338  
e-mail sizuokahoumonst@cy.tnc.ne.jp

**発行人 編集者** 望月 律子  
杉山恵美子 (三島市医師会訪問看護ステーション) 東部  
原 との子 (訪問看護ステーションあおむし) 中部  
長瀬 由美 (訪問看護ステーションいわた) 西部